

海外安全対策情報（令和４年度第１四半期（４月～６月））

在ベトナム日本国大使館

１ 社会・治安情勢

- （１）新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う各種規制の緩和に伴い、来越する外国人観光客が増加する中、ハノイ市内の各観光地において、これらの観光客をターゲットとした犯罪の発生が顕著に増加している。
- （２）強盗、薬物、人身売買など重大凶悪事件の発生や検挙が日々報道されており、特に薬物関係の事案はハノイ市内及び周辺部でも散見されるようになっている。
在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が多く寄せられており、特にバイクを利用してスマートフォンをひったくる形態の犯罪が続発している。
- （３）当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１）ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（2022年４月～６月実績。※（ ）内の数値は2022年１月～３月実績。）

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数 : 830 件（684 件）
- イ 刑法犯検挙人数 : 1244人（1075人）

【交通事故関係】

- ア 交通事故発生件数 : 232 件（176 件）
- イ 交通事故死亡者数 : 130 人（92人）
- ウ 交通事故負傷者数 : 157 人（83人）

- （２）邦人被害事案（主なもの）

当地において有名な観光地であるホアンキエム湖周辺において、後方から忍び寄りバッグのチャックを開披して中身を抜き取る手口の「スリ被害」が連続発生している。

３ 銃器等使用の凶悪事件発生状況

ゲアン省、クアンニン省などハノイ市周辺各地において、手製の銃を使用した襲撃事件や麻薬関連犯罪が多発している。

４ テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

５ 誘拐（人身売買）・脅迫事件発生状況

ベトナムからカンボジアへ人身売買により不法就労をさせられていた 400 人のベトナム人が送還される事案が発生している。

6 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）は認知していない。